

黒河(くろこ)の会便り 第 38 号

◆ 世界遺産黒河道トレッキング

4 月 15 日（土）太閤秀吉下山路と久保小学校の桜を見てのトレッキングが開催されました。

主催：高野七口再生保存会、共催：黒河の会、橋本観光ガイドの会で、先着 80 名で募集したところ、大人気で 140 名を超す参加応募があり、スタッフを入れて 160 名以上のトレッキングとなりました。



(高野山)



(山道)



(久保小学校)



(賢堂五軒畑)

文禄 3 年（1594）春 3 月、太閤秀吉は亡母大政所（天瑞寺殿）の 3 回忌を高野山金剛峯寺で 3 日間に亘り盛大な法会を行いました。当時高野山内は、音曲の類は禅定を妨げることから、一切禁止の不文律の掟を秀吉は破り、新作の能「高野詣で」を演じたところ、晴天俄かに掻き曇り、雷鳴とどろき山全体が振動したと云う。さすが秀吉も「こりゃ弘法に負けたわい」と能を中止し、千寿院谷から久保一市平一丹生川一わらん谷一明神ヶ田和一を経て隅田村護国寺に逃げ込んだという伝説が紀伊風土記に記されている。今回はこのルートを忠実に歩きました。

高野山大学前を 8：30 に出発 久保小学校で昼食は名物の桜は未だ咲き掛けで残念！でした。途中十数名のリタヤが出ましたが、事故もなく 17 時ころ、無事利生護国寺に到着しました。ご参加いただいた方々、スタッフ役員の方々お疲れ様でした。

◆案内道標

平成 28 年 10 月 24 日第 40 回ユネスコ国連教育科学文化機構会議で「高野参詣道・黒河道」が三谷坂不動坂・女人道と共に、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に追加登録された事を受け、道筋に幟や道標看板が立てられています。



春となり、黒河道を歩く人が増えて来ました。地元賢堂区にとっては、嬉しい事です。黒河の会も県・市の協力を得ながら整備事業、維持管理に取り組みたいです。



◆黒河（くろこ）の会便り 最終便

平成 25 年 6 月 黒河（くろこ）の会便り 第 1 号 を発行して以来、地元賢堂区の方へ「黒河道」の PR を兼ねて、黒河道に関係する事柄を書き続けて来ましたが、今回の 38 号を以て最終便とさせていただきます。約 4 年に亘り、皆様方のご協力のお蔭で続けることができました。今、読み直してみると いろんな思い出が蘇りますが、何よりも平成 28 年 10 月 24 日 黒河道 が世界遺産に登録されたことが、一番嬉しい出来事でした。



今後は 「かしこど」と題してこの地区に埋もれている、又 忘れられている歴史などを、気ままに書きたいと思っています。それでは皆様ごきげんよう。

黒河の会 山本 一清